＜非売品＞

受験の心構え

～輝く未来のために

進路についての心構え・成績をあげるコツ

「石の上にも３年」
・・進路開拓の為には、１年生の時からしっかり勉強すること。

質よりも量をこなせ。
業成績＝学習意欲×学習時間×学習能率（方法）』
毎日、（学年＋１）時間の家庭学習をする。
何でも３６回で記憶定着。

勉強方法を工夫せよ。
学んで理解したと思うことは機会があるごとに
繰り返し理解せよ。
「復習」には力を入れ、どんな時もかかすな。
決して、一度にまとめてやろうとするな。
丸暗記に頼らず、なぜそうなのか、その内容や
理由をよく考えながら覚えよ。
粗雑でも速く・正確をモットーに。

授業を大切に。

朝の学習の習慣をつける。

『勉強十教訓』

①決まった時間に決まった場所で決まった科目を勉強する。

②どんな時でも自分一人で勉強するという気持ちで勉強する。

③勉強したことは必ずノートにとっておく。

④勉強中、気が散らないようにする。

⑤学習のよい環境をつくる。

⑥本は詳しく読む前に、全体をさあと読む。

⑦本はできるだけ速く読む。

⑧勉強の後、すぐ暗唱する。

⑨いつも問題をもって学習する。

⑩勉強内容を人に教えるように声を出して
説明してみる。

「合格思考」～合格するための１８の原則～

①受かるヤツは、結果が全てと知っている。
②受かるヤツは、自分の戦う『型』を知っている。
③受かるヤツは、「不安」と「自信」をうまく同居させている。
④受かるヤツは、今日が何月何日か知っている。
⑤受かるヤツは、「ゴルゴ13」を読んでも、「ああ、いい勉強になった」と言える。
⑥受かるヤツには、「メモ魔」が多い。
⑦受かるヤツはケータイを捨てられる。
⑧受かるヤツは「なが～い目」を持っている。
⑨受かるヤツは、「漢字」と「計算」を大事にしている。
⑩受かるヤツは、デキルのに「謙虚」
⑪受かるヤツは「量より質」を口にしない。
⑫受かるヤツは眠いのを我慢しない。
⑬受かるヤツは、「アウトプット」を大事にしている。
⑭受かるヤツは自分の悪い結果を人に言える。
⑮受かるヤツは、今日の？を明日まで引きずらない。
⑯受かるヤツは仲間を大事にする。
⑰受かるヤツは時間が一番大事なものだと知っている。
⑱受かるやつは、悩んでいても手は止めない。

受験直前・直後の心構え

○受験前日・・・心穏やかに過ごす。
「もう少しやっておけばよかった」「まだやり足らない」という人もいるかもしれませんが、もう時間がありません。今から出来ることは、今日一日、何事にも穏やかに過ごすことを実行してください。決して怒らず、人には優しく接することで、心をゆったりさせ、無る気持ちを落ち着かせてくれます。これが「心の準備」です。怒られても怒らず、用事を頼まれても断らず、穏やかにゆっくり過ごすのが一番です。「やるだけのことはやった」「やれることはすべてやった」と準備万端の気持ちになることが大切です。

○受験当日・・・全力疾走。
自分の持っている実力を全開にし、頑張らないといけません。難しい問題も出題されるかもしれませんが、難しい問題はみんなにとっても難しいので、難しい問題を解答するのに時間を掛けるより、易しい問題、自信のある問題をよく見直して、確実に正解を出し、小さなミスのないようにすることの方が大切です。字を丁寧に書くこと、そして、一つの試験が終わったら、振り返らず、次の試験のために備えることです。

○合格発表の日・・・感謝・決意
合格した人は、「おめでとう！」　しかし、自分一人で合格したのではないということを心してください。「やった！」だけではなく、「ありがとうございました。」の感謝の言葉で合格の報告をしてください。
残念ながら不合格だった人は、いつまでも涙なんか見せてはおれません。僕（私）を合格させないような学校は縁がなかったものとして、次の作戦を立てて、次への準備に移らないといけません。「お願いします。」と次への決意を言葉で表現してください。

受験本番に強くなるための心得

◎試験会場へは、正門から堂々と
胸を張って入れ。

◎まず教室を見渡して、落ちそうなやつを
見つけろ。

◎友人とは、強気の会話をして周りをビビ
らせろ。

◎休み時間には、絶対に済んだ試験の答え
合わせをするな。

◎最後の難問にぶつかったら、セーターを
一枚脱げ。

◎答えに迷った時は最初の直感を信じよ。

＜合格答案７か条＞

1. まず、受験番号と名前を書くこと。
特に２科目から書き忘れが多いので注意する。
2. 全問題を一通り目で、「難しいもの」と「簡単なもの」を判断し、「簡単なもの」を先に、「難しいもの」は後回しにする。
3. 細心の注意で設問を読み取り、設問に合わせて解答する。（たとえば、記号で答えるべきは記号で答えるなど）
4. 字はしっかりていねいに書くこと。
特に単位ミス、記号ミスに注意する。
5. 時間配分を工夫して、１つの問題に関わり過ぎない。（入試では、満点を取る必要はありません。）
6. 採点者に「答案を見ていただく」気持ちで書くこと。（そうすると、書き方も変わってきます。）
7. 最後にもう一度答案（特に設問と答え）を見直しする。最後の１秒まで得点を１点でも多く取れるようがんばる。

「勝負の世界」と「受験の世界」は共通する。

□挑戦なくして成功なし。
□自分なりの武器をもて。（武器が勝利を呼ぶ。）
□「沈黙は金」ならず、「禁」である。
□ねばれば、必ず道は拓ける。（ねばりが勝負を呼ぶ。）
□勇気と無謀、拙速と待機の違いを知れ。
□強気が強運を呼ぶ。（強気はくじかれない。）
□運も実力のうち。（月を掴む，運の強い人間になる。）
□プレッシャーを楽しめ。
□感謝の心に奇跡は宿る。
□ピンチはチャンスなり。油断は大敵。
□活路は一番手強く見える所にある。
□開き直ると力みがとれ、冷静になれる。
□是が非でもという願いは決してかなえられない。
（「無欲の勝利」）
□人事を尽くして、天命を待て。
□信じる者こそ救われる。
（「必ず勝てる！」という信念をもて。）
□自力と他力を相乗させよ。
□呪文・思い込みの効果を知れ。
□先制・主導一先手を取れ。
□正をもって合し、奇をもって勝つ。
（正攻法と奇作を使い分けよ。）
□目的を誤らない。（目的と目標は違いを知れ。）
□戦わずして勝つ。（手数を見せないで勝ち進め。）
□兵は国の大事。
（健康に気をつけ、ベストコンディションで臨め。）